

令和 5 年度

大学院保健看護学研究科  
保健看護学専攻(博士前期課程)  
学 生 募 集 要 項



京都府公立大学法人

京都府立医科大学大学院  
保健看護学研究科

# 令和5年度京都府立医科大学大学院保健看護学研究科

## 【博士前期課程】入学試験日程

### <前期日程試験>

- 募集人数： 8名
- 出願期間： 令和4年7月11日（月）～令和4年7月22日（金）
- 入学試験日： 令和4年8月26日（金）
- 合格発表： 令和4年9月2日（金）

### <後期日程試験>

- 募集人数： 若干名
- 出願期間： 令和4年12月5日（月）～令和4年12月16日（金）
- 入学試験日： 令和5年1月27日（金）
- 合格発表： 令和5年2月8日（水）

## 保健看護学研究科博士前期課程アドミッションポリシー

### 『求める学生像』

- 1 高度で専門的な知識と技術に裏付けられた看護実践力を身につけ、保健看護学の発展に貢献する意欲のある人
- 2 豊かな人間性を備え、生命の尊厳を守る高い倫理観を持つ人
- 3 自らの研究成果を国内外に発信しようとする人
- 4 不断の自己研鑽ができる人

### 『入学者選抜の基本方針』

本学の理念は世界トップレベルの医学を地域に生かすことである。

保健看護学研究科においても、最先端の生命科学・医学・看護学の知識と、倫理性と創造性に富み、人々が生活する地域社会において高度医療に対応できる質の高い看護を提供できる学生を求める。

本学の入試では、看護学の共通領域および研究領域の筆記試験により保健看護学の研究遂行に必要な専門的知識および能力を評価する。

また、入学志願理由書および個別面接により、保健看護学の学修に関する関心や意欲、人間性を評価する。

# = 目 次 =

## 学生募集要項

1	募集人員	1
2	受験に至る手続	1
3	入学者選抜方法	2
4	出願資格	2
5	出願資格の認定	3
6	研究領域等についての事前相談	4
7	身体等に障害のある入学志望者との事前相談	5
8	出願手続	5
9	合格発表	6
10	入学手続等	7
11	留意事項	7
12	その他の注意事項	7
	入学試験会場案内	9
	所定の用紙（事前相談等連絡票）	10

## 保健看護学研究科保健看護学専攻博士前期課程の概要

【教育目的】	11
【教育課程の概要】	11
1 教育課程	11
2 履修方法	11
3 修了要件	12
4 学位の名称	12
5 長期履修制度	12
表1 教育課程（授業科目と担当教員）	13
表2 がん看護専門看護師コースの教育課程表	14
表3 保健看護学研究科博士前期課程研究領域・担当教員一覧	15

## [学生募集要項]

### 【1 募集人員】

研究科名	課程名	専攻名	募集人員
保健看護学研究科	博士前期課程	保健看護学専攻	【前期日程試験】8名 【後期日程試験】若干名 〔 社会人としての 入学生を含む 〕

本学では、働きながら学びたいという意欲と能力を持った志願者のニーズに応えるため、社会人も受け入れています。社会人として入学した学生に対しては、個別状況に沿えるような授業・研究指導を行うよう配慮しています。

また、大学院への入学機会を広く提供する観点から、大学を卒業していなくても、本学において事前に出願資格審査を受けて出願資格の認定を得ることを条件に、受験することが可能です。

#### ・「がん看護専門看護師コース」を併設しています。

一般社団法人日本看護系大学協議会（高度実践看護師教育課程認定委員会）において、38単位課程認定済。

### 【2 受験に至る手続】

#### (1) 出願資格の確認（2～4頁を参照のこと）

出願資格認定を必要とする者は、次の期間内に手続きを行ってください。

認定申請期間

【前期日程試験】令和4年 5月27日(金)～令和4年 6月24日(金)

【後期日程試験】令和4年10月17日(月)～令和4年11月14日(月)

#### (2) 研究領域等についての事前相談（4頁を参照のこと）

事前相談期間

【前期日程試験】令和4年 5月27日(金)～令和4年 7月15日(金)

【後期日程試験】令和4年10月17日(月)～令和4年12月 9日(金)

#### (3) 出願手続（5～6頁を参照のこと）

出願期間

【前期日程試験】令和4年 7月11日(月)～令和4年 7月22日(金)

【後期日程試験】令和4年12月 5日(月)～令和4年12月16日(金)

### 【3 入学者選抜方法】

#### (1) 試験科目等

##### ① 筆記試験

以下の2科目の両方を解答するものとします。

- ・ 共通科目 [総合問題及び英語]
- ・ 専門科目 [出願した研究分野に関する問題] (表3参照)

※英語の試験が含まれる共通科目では、本学が貸与する英和辞書の使用を認めます。  
(貸与する辞書以外、試験会場への辞書の持ち込みは不可)

##### ② 面接試験

指導的・実践的な高度専門職者となるにふさわしい資質及び適性、並びに志望する研究課題等を評価します。

#### (2) 試験日程・科目

試験日	科目	時間
(前期日程) 令和4年8月26日(金)	筆記試験	
	共通科目(英語)	9:00~10:00(60分)
(後期日程) 令和5年1月27日(金)	共通科目(総合問題)	10:10~11:10(60分)
	専門科目	11:30~12:30(60分)
	面接試験	13:40~

#### (3) 入学試験場

京都市上京区清和院口寺町東入ル中御霊町410  
(9頁の入学試験会場案内のとおり)

### 【4 出願資格】

次の(1)~(12)のいずれかに該当する者とします。

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学(以下「大学」という。)を卒業した者及び入学前年度の3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び入学前年度の3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び入学前年度の3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び入学前年度の3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学前年度の3月までに修了見込みの者

- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学前年度の3月までに修了見込みの者
  - (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び入学前年度の3月までに修了見込みの者
  - (8) 文部科学大臣が指定した者（昭和28年文部省告示第5号）及び入学前年度の3月までにそれに該当する見込みの者
  - (9) 本学医学部医学科に4年以上在籍し、124単位以上修得した者
  - (10) 学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
  - (11) 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
  - (12) その他本大学院において、個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び入学前年度の3月までに22歳に達する者
- ※ (10) (11) (12) により出願しようとする者は、出願資格認定に係る審査を行うので、必ず事前に問い合わせして下さい（下記5参照）。
- ※ (10) (11) (12) により出願しようとする者は、原則として実務経験を3年程度有していることが必要です。
- ※ 公益社団法人日本看護協会のがん看護専門看護師認定審査にあたっては、「看護師免許取得後、実務研修が通算5年以上あり、そのうち通算3年以上は専門看護分野の実務研修であること。」が必要となっています。

## 【5 出願資格の認定】

出願資格の認定を受けて出願しようとする者は、次により必ず事前に出願資格の認定を申請してください。

ただし、認定申請の前に、研究領域等についての事前相談を必ず行う必要があります。（4頁参照）

### (1) 申請期間

【前期日程試験】令和4年 5月27日(金)～令和4年 6月24日(金)

【後期日程試験】令和4年10月17日(月)～令和4年11月14日(月)

（期間内に必着のこと。申請期間後に到着した場合は受理しない。）

### (2) 申請先

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465  
京都府立医科大学事務局教育支援課入試係

### (3) 申請書類

次の書類を申請期間内に到着するように**郵送又は持参**により提出してください。

(直接持参する場合、受付時間は土日祝を除く平日の午前9時から午後4時まで)

提出書類等	内 容
ア 出願資格認定申請書	本学所定の用紙(様式1)に必要な事項を明記したもの。
イ 出願資格認定に係る志望理由書	本学所定の用紙(様式2)に必要な事項を明記したもの。
ウ 卒業(見込)証明書	出願資格に該当する大学等の学長又は学校長等が作成したもの。
エ 成績証明書	出願資格に該当する大学等の学長又は学校長等が作成し、 厳封したもの。
オ 看護師等免許証(写し)	実務経験が看護職者(保健師、助産師、看護師)としての ものである場合に提出が必要です。 (A4版のコピーとすること)
カ 在職期間証明書	在職に係る所属長の証明書
キ 返信用封筒	角形2号の封筒に申請者の住所、氏名、郵便番号を記載し、 440円切手(簡易書留郵便)を貼付したもの。

### (4) 認定審査結果書類

出願資格認定に係る審査の結果は、本人あて書面で通知します。

## 【6 研究領域等についての事前相談】

すべて入学志望者は、出願に先立ち、志望する研究領域及び入学その後の履修内容についての本学担当教員との事前相談が必要です。

については、次の連絡先まで、事前にメールまたはFAXにより送信・連絡の上、相談日時を予約してください。

なお、連絡の際は、本学所定の用紙(10頁)を使用してください。

(連絡先) 〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465

京都府立医科大学事務局教育支援課入試係

電 話 : (075)251-5167 FAX : (075)251-5216

メール : nyushi@koto.kpu-m.ac.jp

(事前相談期間)

【前期日程試験】令和4年 5月27日(金)～令和4年 7月15日(金)

【後期日程試験】令和4年10月17日(月)～令和4年12月 9日(金)

※ 相談日時は、原則として土日祝を除く平日の午前9時から午後5時までです。

※ 担当教員の都合により、必ずしも希望する日時とならない場合がありますので、注意してください。



## 【7 身体等に障害のある入学志望者との事前相談】

身体等に障害のある入学志望者で、受験上又は修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、下記相談期間中に本学事務局教育支援課入試係まで文書（任意様式）で照会してください。

（相談期間）

【前期日程試験】令和4年 5月27日(金)～令和4年 6月24日(金)

【後期日程試験】令和4年10月17日(月)～令和4年12月 9日(金)

## 【8 出願手続】

(1) 出願期間

【前期日程試験】令和4年 7月11日(月)～令和4年 7月22日(金)

【後期日程試験】令和4年12月 5日(月)～令和4年12月16日(金)

※この期間の消印のある書留郵便に限り受け付けます。

(2) 出願書類提出先

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465  
京都府立医科大学事務局教育支援課入試係

(3) 出願書類

次の書類を本学所定の封筒に入れ、出願期間内に到着するように「**簡易書留郵便**」で送付してください。郵送以外の方法により出願した場合は受理しません。

提出書類	内 容
①入学志望書	本学所定の用紙（様式3）に必要事項を明記したもの。
②入学志望理由書	本学所定の用紙（様式4）に必要事項を明記したもの。
③受験票及び照合票	本学所定の用紙に必要事項を明記し、出願前3箇月以内に撮影した、縦4cm・横3cmの脱帽、正面、上半身、単身の写真をそれぞれ所定欄に貼付してください。（受験票及び照合票の写真は、同一のものを使用すること。）なお、写真裏面には氏名を記入してください。
④卒業（見込）証明書	出願資格に該当する大学等の学長又は学校長等が作成したもの。 * 出願資格の(2)から(8)によって出願する者は、その資格に関する証明書を提出してください。
⑤成績証明書	出願資格に該当する大学等の学長又は学校長等が作成し、厳封したもの。 * 出願資格の(2)から(8)によって出願する者は、その資格に関する成績証明書を提出してください。 * 大学以外で看護教育（看護師、保健師、助産師）を受けた者は、当該校の成績証明書も併せて提出してください。



提出書類	内 容
⑥在職期間証明書	在職に係る所属長の証明書（がん看護専門看護師コースの受験者のみ）
⑦出願資格認定審査結果通知書写	出願資格認定を受けて出願する者は、本学から通知の「審査結果（通知書）」のコピーを提出してください。 <b>（この場合、上記④⑤⑥は不要）</b>
⑧入学考査料	30,000円 本学所定の入学考査料振込依頼書を使用して金融機関で振り込んでください。（現金、小切手等では一切受け付けない。）その際、金融機関から発行される「振込金領収証明書（大学提出用） <b>C票</b> 」に金融機関の領収印があることを確認し、入学志望書の裏面の指定位置に貼付してください。
⑨返信用封筒（受験票返送用封筒）	本学所定の封筒で、志望者の住所、氏名及び郵便番号を明記し、 <b>郵便切手404円（簡易書留郵便）</b> を貼り付けること。
⑩あて名票	郵便番号、住所、氏名を記入してください。なお、合格通知の際に使用しますので、入学志望書の受信場所の欄と同様、合格通知が最も早く本人に送付できる場所を記入してください。

※ 提出書類等の氏名は、通称や略字などを使用せず、戸籍簿（外国人の場合は外国人登録した氏名で通称名を除く。）に記載のとおりに入力してください。

## 【9 合格発表】

### （1）日時

【前期日程試験】令和4年9月2日(金) 午前10時00分

【後期日程試験】令和5年2月8日(水) 午前10時00分

### （2）場所

京都府立医科大学河原町キャンパス内掲示板に掲示するとともに、合格者に通知し、併せて入学手続に必要な書類を送付します。また、本学ホームページにも、上記合格発表日時以降に合格者の受験番号を掲載しますが、あくまでホームページでの情報提供は参考情報です。合否の確認は、本学構内の掲示板又は合格者に送付する合格通知書で正式に確認してください。

なお、電話、FAX等による合否の問合せには、一切応じません。

本学ホームページアドレス : <https://www.kpu-m.ac.jp/>

## 【10 入学手続等】

### (1) 入学手続の日時

【前期日程試験】令和4年9月15日(木)、16日(金) 午前9時～午後4時

【後期日程試験】令和5年2月15日(水)、16日(木) 午前9時～午後4時

※上記日時に手続きを行わなかった者は、入学を辞退したものとみなします。

### (2) 入学手続の場所

**京都府立医科大学事務局教育支援課入試係**

(京都府立医科大学 河原町キャンパス 基礎医学学舎2階)

### (3) 入学手続に必要なもの等

合格者に対しては、合格通知の際に入学手続に必要な事項をお知らせしますが、上記入学手続日に最低限必要なものは次のとおりです。

ア 入学料 282,000 円

イ 誓書 (本学所定の用紙)

(注) ① 入学料は改定される場合があります。

② 入学料納入方法は合格通知の際にお知らせします。

③ 納入した入学料は、返還しません。

④ 郵送による入学手続は受け付けません。

⑤ 授業料は入学後に別途指示します。(年額 535,800 円を2期(前期、後期)に分けて納付する。但し、金額は改定される場合があります。)

⑥ 卒業見込みで受験した者のみ、卒業証明書及び成績証明書を卒業後速やかに提出してください。

## 【11 留意事項】

(1) 提出書類に記載事項の記入漏れ等の不備がある場合は受理しません。

(2) 書類受理後の記載事項の変更は認めません。

(3) 書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがあります。

(4) 受信場所を変更したときは、直ちに届け出てください。

(5) 受理した書類及び入学考査料は返還しません。

## 【12 その他の注意事項】

(1) 試験会場内の下見は許可しません。

(2) 試験当日、合否電報等を扱っている者があっても、本学とは何ら関係がありませんので、一切責任は負いません。

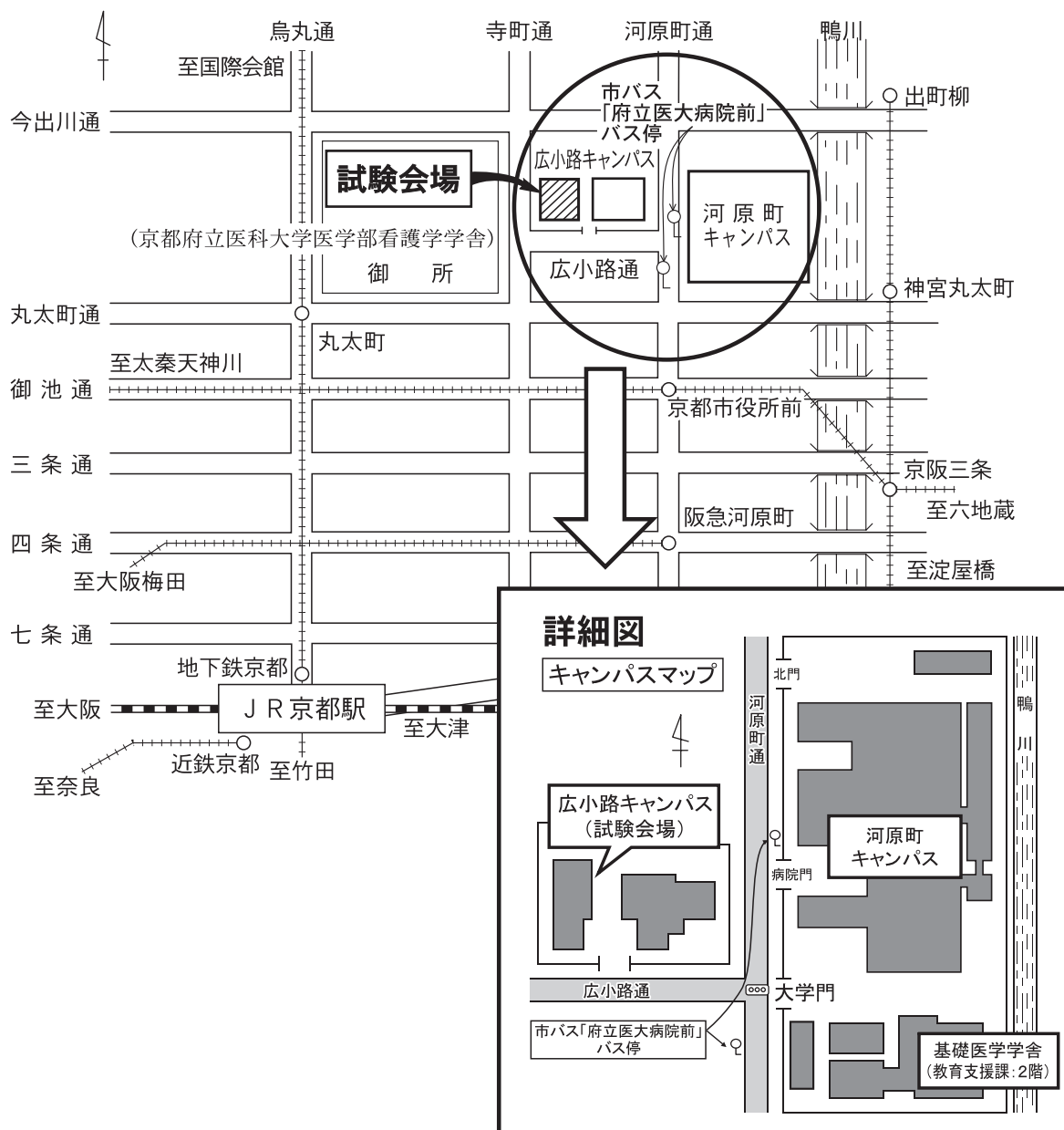
(3) 受験上の注意事項は次のとおりです。

- ① 試験当日は、必ず受験票を持参し、試験の際、机の上に置いてください。
- ② 試験当日は、所定の時刻(受験票に記載)までに試験室の座席に着席してください。
- ③ 試験開始時刻に遅れた場合は、試験会場の監督者に申し出て指示を受けてください。15分以内の遅刻者は、やむを得ない理由がある場合に限り受験を許可しますが、その他は一切許可しません。
- ④ 試験問題についての質問及び受験生の私語は一切許しません。
- ⑤ 試験室では、特に指定のあったものを除き、受験票、黒鉛筆、黒色のシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式、大型のもの、ナイフ類は不可)、定規、時計(時計機能のみのものに限ります。また、辞書、電卓等の機能がないか判別しづらいものは不可)、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(箱又は袋から中身だけ取り出したもの)、予備のマスク以外は机の上に置いてはいけません。
- ⑥ 解答には黒以外の鉛筆、シャープペンシルを使用してはいけません。
- ⑦ 携帯電話・スマートフォン等は、試験室に入る前に電源を切り、かばん等に入れてください。

# 〈 入 学 試 験 会 場 案 内 〉

京都府立医科大学広小路キャンパス内  
 医学部看護学学舎

京都市上京区清和院口寺町東入中御霊町410番地



## — 交通案内 —

- ◆ J R 「京都」 駅から市バス4・17・205系統で約30分、「府立医大病院前」下車
- ◆ 阪急電鉄「河原町」駅から市バス3・4・17・205系統で約10分、「府立医大病院前」下車
- ◆ 京阪電鉄「神宮丸太町」駅から徒歩10分

(注) 試験会場内の下見は許可しません。

## 事前相談等連絡票

### 京都府立医科大学大学院保健看護学研究科保健看護学専攻(博士前期課程) 令和5年度入学志望者：事前相談等連絡票

京都府立医科大学

教育支援課入試係 様

貴大学院の令和5年度入学を志望するにあたり、以下のとおり、事前相談を希望しますので、よろしくお願ひします。

ふりがな				年齢	歳	性別	男・女
氏名							
連絡先	〒----- ----- TEL： 自宅 ----- 携帯 ----- FAX：-----						
志望先	出願資格		研究領域	教員名			
		第1志望					
		第2志望					
事前相談 希望日時	第1希望	令和 年 月 日 ( ) 午前・午後 時 分 ~					
	第2希望	令和 年 月 日 ( ) 午前・午後 時 分 ~					
	第3希望	令和 年 月 日 ( ) 午前・午後 時 分 ~					

(注1) 上記太線枠内を記入の上、メールまたはFAXにより送付してください。(やむをえない場合は郵送可) なお、連絡を確実なものとするため、送付後、電話により受理された旨を必ず確認してください。

**送付先：メールアドレス：nyushi@koto.kpu-m.ac.jp**

**FAX番号：075-251-5216**

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465

京都府立医科大学事務局教育支援課入試係

TEL 075-251-5167

(注2) 「年齢」は、令和5年4月1日現在のものを記入してください。

(注3) 「連絡先」は、確実に連絡がとれるところ(携帯電話を含む)を記入してください。

(注4) 「志望先」の「出願資格」は2~3頁を参考の上、該当する番号を記入してください。

(注5) 「志望先」の「研究領域」「教員名」は表3を参考の上、志望する研究領域及び教員名を記入してください。(第2志望については、志望する場合のみ記入すること。)

(注6) 「事前相談希望日時」は、土日祝を除く9時から17時の間で、記入してください。

※本書式は、本学ホームページ [https://www.kpu-m.ac.jp/doc/examination/exam\\_daigakuin/hokenkango.html](https://www.kpu-m.ac.jp/doc/examination/exam_daigakuin/hokenkango.html) から入手可能です。

# 保健看護学研究科保健看護学専攻博士前期課程の概要

## 【教育目的】

保健看護学研究科では、高齢化や京都府北部の医療問題や高度医療の享受のために、高度な看護実践能力と管理能力、社会に求められる保健看護学における研究の探究を特色とする。本研究科の教育・研究は、現代の多様な保健・医療のニーズに対応し、複雑化する疾病の予防と地域住民の健康増進に寄与することを目的としている。

本課程では以下の能力を涵養し、地域社会において貢献できる人材を育成する。

- 1 府北部、中部地域における高齢化した農山村地域で必要とされる高度な看護実践能力と、地域で有用な地域包括医療の推進に寄与できる管理能力
- 2 高い倫理観を持ち、豊かな人間性と広く社会的な視点から、高度で専門的な知識と技術に裏付けられた看護実践力と管理指導能力
- 3 高度な学識と医療を結びつけ、保健看護学の発展に寄与できる研究能力

## 【教育課程の概要】

### 1 教育課程

共通科目と専門科目から編成され、共通科目には専門科目を支える科目を配置している。専門科目には、保健看護学教育・研究者や、高度看護実践指導者（がん専門看護師を含む）となるための科目を設定し、学生がそれぞれの希望進路に合わせて選択できるように配慮した。（表1参照）

### 2 履修方法

学生は自らの目標が達成できるように、指導教員の助言を受けて履修計画を立て、以下のように30単位以上を修得しなければならない。

#### （1）履修科目と修得単位

- ア 共通科目は、必修科目2科目及び選択科目2科目以上を履修し、計8単位以上修得する。
- イ 専門科目は、12単位以上、特別研究・演習・実習で計10単位以上を修得する。

がん看護専門看護師コースについては、38単位課程として日本看護系大学協議会の認定を受けている。学生は、希望する課程に応じ、各教育課程表（表2参照）の科目区分に応じた必要単位を修得する。

#### （2）研究指導

研究指導は、各自の研究指導教員による指導を主とするが、研究内容によっては複数の教員による研究指導体制をとる。

### 3 修了要件

#### (1) 修了年限

修業年限は2年とする。但し、在学期間は4年を超えることができない。

#### (2) 修了要件

修了要件は、共通科目8単位以上、専門科目22単位以上を履修し、計30単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文に係る審査及び試験に合格することが必要である。

がん看護専門看護師コースについては、各教育課程表（表2参照）の科目区分に応じた必要単位を修得する他、大学院必修科目を修得し、必要な研究指導を受けた上、特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格することが必要である。

### 4 学位の名称

本研究科の課程を修了した者に与える学位は、

**保健看護学専攻 修士（保健看護学）**

**Graduate School of Nursing for Health Care Science, Master of  
Nursing for Health Care Science**

である。

### 5 長期履修制度

本研究科では、職業を有している等の事情により、標準修業年限（2年）を超えて一定の期間（最長4年まで）にわたり計画的に教育課程を履修することを申請する者については、審査のうえ許可することがある。

詳細については、教育支援課入試係（電話：075-251-5167）まで問い合わせること。



表1 教育課程（授業科目と担当教員）

区分	授業科目名	単位数				学期	修了要件履修単位	担当教員名 (◎は主担当教員を示す)	備考
		必修	選択	CNSコース 必修	選択				
共通科目	[1] 保健看護学理論	2	2	2	前期	8 単位以上	◎吾妻知美、志澤美保、毛利貴子、占部美恵、井上玲子		
	[2] 研究方法論特論	2	2	2	前期		◎松岡知子、志澤美保、郷良淳子、室田昌子		
	[3] 保健看護情報科学特論		2	2	前期		浅野弘明		
	[4] 保健福祉政策特論		2	2	後期		◎志澤美保、上掛利博、千葉圭子、伊藤尚子		
	[5] 看護教育学特論		2	2	前期		◎滝下幸栄、川上祐子、山本裕子、筒井佳澄		
	[6] 看護倫理		2	2	後期		◎吾妻知美、松岡知子、郷良淳子、瀬戸山晃一、吉岡さおり、室田昌子、毛利貴子		
	[7] 看護管理論		2	2	前期		◎吾妻知美、宮原晴子		
	[8] コンサルテーション論		2	2	後期		◎郷良淳子、占部美恵、梅田恵		
	[9] 看護政策論		1	1	後期		◎滝下幸栄、豊島博子、瀬戸奈津子		
	[10] 英書講読		2	2	前期		Jason Barrows		
	小計(10科目)	4	15	4	15				
専門科目	[11] 健康増進支援技術特論		2	2	後期	12 単位以上	◎志澤美保、伊藤尚子、村上佳栄子		
	[12] 地域保健看護学特論		2	2	前期		志澤美保		
	[13] 高齢者保健看護特論		2	2	前期		◎、毛利貴子、川上祐子		
	[14] 女性保健看護学特論		2	2	後期		◎松岡知子、吉岡友香子、前田絢子		
	[15] 高齢者ケア特論		2	2	後期		◎、毛利貴子、川上祐子、鈴木 聡		
	[16] 看護管理特論		2	2	後期		吾妻知美		
	[17] ヘルスアセスメント特論		2	2	後期		◎山本容子、郷良淳子、島田順一、滝下幸栄、毛利貴子、筒井佳澄		
	[18] 健康回復支援技術特論		2	2	後期		◎、滝下幸栄、山本容子、筒井佳澄		
	[19] 成人健康回復期支援特論Ⅰ		2	2	前期		◎、室田昌子、佐伯良子、山田親代		
	[20] 成人健康回復期支援特論Ⅱ		2	2	後期		◎、室田昌子、山本裕子		
	[21] 精神保健看護学特論		2	2	前期		◎郷良淳子、占部美恵、福田弘子		
	[22] 発達障害特論		2	2	後期		森本昌史		
	[23] 小児看護特論		2	2	後期		◎原田清美、馬場口喜子、山口未久		
	[24] 臨床遺伝学特論		2	2	後期		島田順一		
	[25] 病態生理学総論		2	2	前期		◎島田順一、楠木泉、森本昌史		
	[26] 腫瘍病態生理学各論		2	2	後期		◎島田順一、楠木泉、森本昌史		
[27] 臨床薬理作用論		2	2	後期	◎島田順一、四方敬介、杉本みなみ、青戸和宏、大久保茜、池田ゆり絵、清水大生、田淵祐輔、幸前里奈、笠井妙代、山本容子				
[28] がん看護学特論		2	2	前期	◎吉岡さおり、藤田かおり				
[29] がん看護学援助特論		2	2	後期	◎吉岡さおり、鈴木弦、田村恵子、作田裕美				
[30] 緩和ケア		2	2	後期	◎吉岡さおり、郷良淳子、天谷文昌、田村恵子、尾下玲子				
[31] がん薬物療法看護		2	2	通年	◎吉岡さおり、滝下幸栄、越智幾世、村木明美、吉田直久、森本吉恵、神林祐子				
	小計(21科目)		42	16	26				
特別研究・演習・実習	[32] 特別研究	8				10 単位以上	吾妻知美、松岡知子、森本昌史、島田順一、楠木泉、志澤美保、郷良淳子、室田昌子、毛利貴子、滝下幸栄、原田清美、吉岡さおり、山本容子、占部美恵		
	[33] 専門演習	2					◎吉岡さおり、室田昌子、上野博司、白井由紀		
	[34] がん看護学演習Ⅰ			2	前期		◎吉岡さおり、滝下幸栄、室田昌子、越智幾世、石川剛、吉田直久、神林祐子		
	[35] がん看護学演習Ⅱ			2	後期		吉岡さおり		
	[36] がん看護学課題研究			2			◎吉岡さおり、服部美景		
	[37] がん看護学実習Ⅰ			2	前期		◎吉岡さおり、越智幾世、吉岡とも子、服部美景、藤田かおり		
	[38] がん看護学実習Ⅱ			2	前期		◎吉岡さおり、越智幾世		
	[39] がん看護学実習Ⅲ			2	前期		◎吉岡さおり、滝下幸栄、室田昌子、越智幾世、吉岡とも子、石川剛、吉田直久		
[40] がん治療看護実習Ⅰ			2	後期					
[41] がん治療看護実習Ⅱ			2	前期	◎吉岡さおり、上野博司、越智幾世、吉岡とも子、尾下玲子				
	小計(10科目)	10			16				
	合計(41科目)	14	57	36	41	30単位以上			

**表2 【がん看護専門看護師コースの教育課程表】**

**【がん看護専門看護師コースの教育課程表(38単位課程相当※)】**

科目区分 (必要履修単位)	大学院該当科目	必修 選択	単 位 数	配当学年				備 考
				1学年		2学年		
				前 期	後 期	前 期	後 期	
専門看護師 共通科目A (8単位以上)	[1] 保健看護学理論	必修	2	2				
	[2] 研究方法論特論	必修	2	2				
	[5] 看護教育学特論	選択	2	2				
	[6] 看護倫理	選択	2		2			
	[7] 看護管理論	選択	2	2				
	[8] コンサルテーション論	選択	2		2			
	[9] 看護政策論	選択	1	1				
専門看護師 共通科目B (6単位以上)	[17] ヘルスアセスメント特論	必修	2		2			
	[25] 病態生理学総論	必修	2	2				
	[27] 臨床薬理作用論	必修	2		2			
がん看護共通科目 (6単位以上)	[26] 腫瘍病態生理学各論	必修	2		2			
	[28] がん看護学特論	必修	2	2				
	[29] がん看護学援助特論	必修	2		2			
がん看護専門科目 (8単位以上)	[30] 緩和ケア	必修	2		2			
	[31] がん薬物療法看護	必修	2	2				
	[34] がん看護学演習Ⅰ	必修	2	2				
	[35] がん看護学演習Ⅱ	必修	2		2			
がん看護実習科目 (10単位以上)	[37] がん看護学実習Ⅰ	必修	2	2				
	[38] がん看護学実習Ⅱ	必修	2			2		
	[39] がん看護学実習Ⅲ	必修	2			2		
	[40] がん治療看護実習Ⅰ	必修	2		2			
	[41] がん治療看護実習Ⅱ	必修	2			2		
大学院必修科目	[10] 英書講読	必修	2	2				
	[36] がん看護学課題研究	必修	2		2			

※上記38単位課程は、一般社団法人日本看護系大学協議会において認定されたものである。  
(認定日:2017年1月9日、有効期間:2017年4月～2027年3月)

表3 保健看護学研究科博士前期課程 研究領域・担当教員一覧

研究領域	職位	担当者	備考
老年・在宅看護学	教授	毛利 貴子	
地域看護学	教授	志澤 美保	
女性生涯保健学	教授	楠木 泉	
母性看護学・助産学	教授	松岡 知子	
臨床健康科学	教授	島田 順一	
看護倫理・管理学	教授	吾妻 知美	
基礎看護学	准教授	滝下 幸栄	
	講師	山本 容子	
成人看護学	准教授	室田 昌子	
精神看護学	教授	郷良 淳子	
	講師	占部 美恵	
小児発達保健学	教授	森本 昌史	
小児看護学	准教授	原田 清美	
がん看護学	准教授	吉岡さおり	

※ 各教員の研究内容は、本学ホームページ<https://www.kpu-m.ac.jp/doc/department/hoken-kango/>を参照のこと。



## 入学者選抜に関する問合せ先

〒602-8566

京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465番地

京都府立医科大学事務局教育支援課入試係

電話番号 075-251-5167（直通）

問合せは、やむを得ない場合を除き志願者本人が行うこと。